

教員名	戸谷 陽子 (TOTANI Yoko)
所 属	文教育学部言語文化学科英語圏・欧州言語文化講座
学 位	文学修士 M.F.A (芸術学修士)
職 名	助教授
URL/E-mail	totani@cc.ocha.ac.jp

◆研究キーワード

アメリカ演劇 / グローバリゼーション / 文化政策

◆主要業績

総数 (2) 件

・“Fornes: Gender/Sexuality and Theatricality” (全国アメリカ演劇研究者会議第 22 回全国大会)

◆研究内容

1. 昨年に引き続き、科学研究費助成により「二十世紀以降アメリカ舞台芸術の理論と実践における文化ポリティクスとグローバル化」の研究を行い、グローバリゼーションが文化にもたらす影響について、主に演劇にみられる異文化受容という点から調査を進めた。
2. 学会活動としては全国アメリカ演劇研究者会議の年次全国大会シンポジウムにおいて、“Fornes: Gender/Sexuality and Theatricality”と題する報告を、またジェンダー&イメージ研究会例会においてコメンテータとして日本のクィア演劇に関する発表のコメントを行った。前者についてはこの発表に基づき論文を執筆した。
3. また本学 COE ジェンダー研究のフロンティア学内研究協力者として、プロジェクト D の研究活動に参加し、多くの研究者と専門分野を超えて学際的な交流をはかった。

◆教育内容

1. 授業は、全学部対象のコア科目英語、英語圏言語文化コース学生対象の専門科目（英語圏テキスト講読、英米文学演習）、大学院生対象のアメリカ演劇関連の科目（米文学演習）を担当しており、視聴覚教材を作成し、立体的な授業を心がけている。
2. その他、語学センター委員として、全学部の英語科目のオリエンテーション、クラス編成、とくに履修相談・指導に時間をかけている。また語学センター主催「イングリッシュキャンプ」に引率として参加。
3. 言語文化学科 1 年生担任としては、留学生の履修や学生生活に関する相談・指導、また来年度より英語圏コースに進学する学生の担任として、オリエンテーションキャンプの企画・準備等。

◆Research Pursuits

Research topic: Politics of Culture and Globalization: Theory and Practice of American Performing Arts since 20th Century

◆Educational Pursuits

Classes taught in 05-06 Academic year

Undergraduate Level: Basic English I & II, Intermediate English II, Cross-Cultural Communication, Readings in English Texts, English and American Literature 2,

Graduate Level: American Literature: Seminar.

◆将来の研究計画・研究の展望

グローバリゼーションと文化の問題をアメリカ演劇の理論と実践を中心に現在研究しているが、実地調査などの具体的な論考を加え、さらにこれを展開させてゆきたい。